Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2　|使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要

建物名称	スーパービバホーム札幌白石店(B敷地)	階数	地上1F
建設地	北海道札幌市白石区本通20丁目南5の内	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	300 人
気候区分	2地域	年間使用時間	5,300 時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月　予定	評価の実施日	2017年2月15日
敷地面積	7,467 ㎡	作成者	
建築面積	3,188 ㎡	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,188 ㎡	確認者	

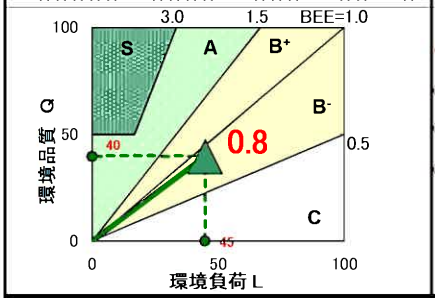
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



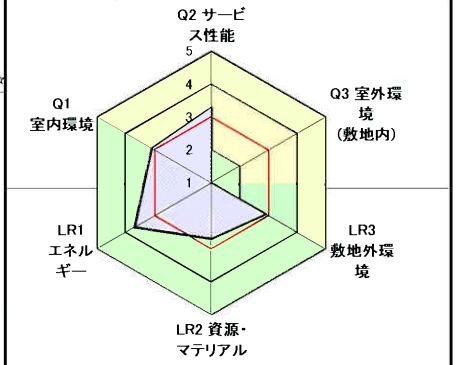
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

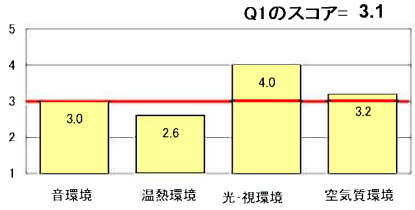
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



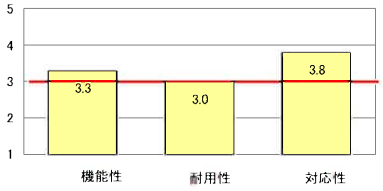
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.5

Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.1



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3

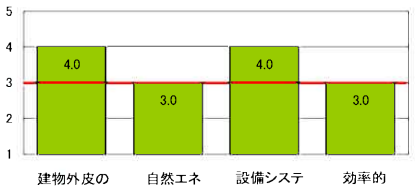


Q3 室外環境(敷地内)　Q3のスコア= 1.0

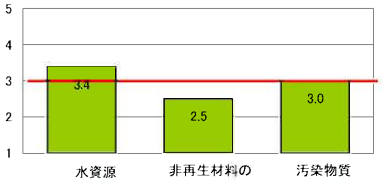


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.2

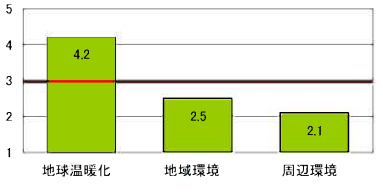
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 2.9



3 設計上の配慮事項

総合
ホームセンターとして利用者の快適性の確保

A 省エネルギー
高効率ガスヒートポンプエアコン採用している。

B 省資源等
特になし。

C 緑化
札幌市の緑の保全と創出に関する条例を満足させる植栽計画

D 雪処理
屋根や庇の雪は基本的に建物側に勾配と設け、樋部に電熱コイルにて溶かす計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2014v1.2
スーパービバホーム札幌白石店(B敷地)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

□ 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート　実施設計段階　　重点評価項目　■A:省エネルギー　■B:省資源　■C:緑化　■D:雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	重み係数	住居・宿泊部分 評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										**2.5**
Q1 室内環境							0.40		-	**3.1**
1 音環境						**3.0**	0.15		-	**3.0**
1.1 騒音						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						**3.0**	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音						**3.0**	0.20	**3.0**	-	
2 温熱環境						**2.6**	0.35		-	**2.6**
2.1 室温制御						**3.0**	0.50		-	
1 室温						3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能	A					3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御						**1.0**	0.20	**3.0**	-	
2.3 空調方式						**3.0**	0.30	-	-	
3 光・視環境						**4.0**	0.25	-	-	**4.0**
3.1 昼光利用						**3.0**	0.50	-	-	
1 昼光率						3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	A					3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御	A					2.0	-	-	-	
2 映り込み対策						-	-			
3.3 照度						3.0	-	5.0	-	
3.4 照明制御					リモコンにて照度調整可能な器具を採用することでレベルを確保しております。	5.0	0.50	-	-	
4 空気質環境						**3.2**	0.25	-	-	**3.2**
4.1 発生源対策						**3.0**	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	5.0	-	
2 アスベスト対策						-	-		-	
4.2 換気						**3.0**	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						**4.0**	0.20	-	-	
1 CO_2の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御					専用室を設け、三種換気として室内が負圧となるようしています。	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						–	0.30	-	-	**3.3**
1 機能性						**3.3**	0.40	-	-	**3.3**
1.1 機能性・使いやすさ						**3.0**	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						**2.6**	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					高階高の確保	5.0	0.33	5.0	-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33	-	-	
3 内装計画						1.0	0.33		-	
1.3 維持管理						**4.5**	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					汚れにくい内装の採用	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					清掃道具置スペースの確保	5.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務						-	-		-	
2 耐用性・信頼性						**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
2.1 耐震・免震						**3.0**	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						**3.0**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						**3.2**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					適切な系統区分	5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						**3.8**	0.30	-	-	**3.8**
3.1 空間のゆとり						**5.0**	0.30		-	
1 階高のゆとり					高階高確保	5.0	0.60	5.0	-	
2 空間の形状・自由さ					店舗内部は間仕切りのない計画	5.0	0.40	5.0	-	
3.2 荷重のゆとり					積雪荷重(140cm)を含めホームセンターとして十分な耐荷重計算	**4.0**	0.30	5.0	-	
3.3 設備の更新性						**2.8**	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2
スーパービバホーム札幌白石店(B敷地)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート　実施設計段階	重点評価項目	■A:省エネルギー	■B:省資源	■C:緑化	■D:雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)						–	0.30	-	-	1.0
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮						1.0	0.30	-	-	1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						–	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー						–	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				省エネ届けによる	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI　非住宅 0.63　住宅(専有部) –	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)	A				省エネ届けによる	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					5.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					5.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						–	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					便所の小便器は水の使用がない無水便器を採用しております。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			–	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			–	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		B				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						–	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		B			無水便所やLED照明の採用	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B			屋外に埋設型雨水貯留槽を設置し一時貯留します。	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					立地法による許可取得できる台数確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目評価結果

■使用評価マニュアル：　CASBEE_Sapporo2014v1.2　　■使用評価ソフト：　CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1　建物概要

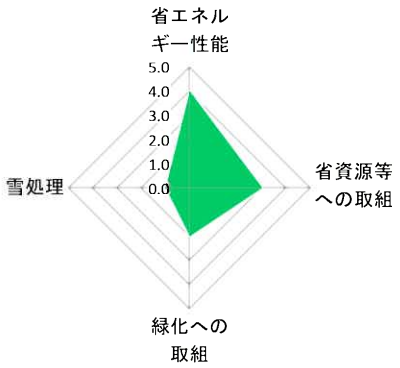
建物名称	スーパービバホーム札幌白石店(B敷地)	BEE	0.8	BEEランク	B⁻
建物用途	物販店,	総合評価	★★☆☆☆		
延床面積	3,188.05　㎡				

2　重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目 省エネルギー	★★★★☆
省資源等	★★★☆☆
緑　化	★★☆☆☆
雪処理	★☆☆☆☆

レーダーチャート



この建物は特に

省エネルギー性能

が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A　省エネルギー					**合計　17点**		**／24点**
Q1 温熱環境	スコア	0.0	LR1	建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.0	
Q1 光・視環境	スコア	3.0	LR1	自然エネルギー利用	スコア	1.0	
			LR1	設備システムの高効率化	スコア	8.0	
			LR1	効率的運用	スコア	2.0	
B　省資源等					**合計　13点**		**／23点**
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2	非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	LR2	汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0	
			LR3	地球温暖化への配慮	スコア	4.0	
			LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0	
C　緑化					**合計　3点**		**／16点**
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0					
D　雪処理					**合計　0点**		**／3点**
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	0.0	

4　設計上の配慮事項

A　省エネルギー

高効率ガスヒートポンプエアコン採用している。

B　省資源等

特になし。

C　緑化

札幌市の緑の保全と創出に関する条例を満足させる植栽計画

D　雪処理

屋根や庇の雪は基本的に建物側に勾配と設け、樋部に電熱コイルにて溶かす計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される